

国際経験を
といっても、
どうやればいいのか
わからない…

ボランティア？
できることは
何もないけど…

辞めずにできる

国際経験

海外で
仕事をしてみたい
けれど、今の仕事を
辞めてまでは
ちょっと…

市場調査で
海外に行きたい
けど費用が…

CASE 1



(株)小川工務店 江口秀満さん(41)の場合…

派遣国: **フィジー(南太平洋)** 利用制度: JICA『民間連携ボランティア』
期 間: 平成27年1月から2年間 派遣内容: 水のろ過装置の設置支援

きっかけは？

青年海外協力隊の経験をもつ社長から、海外ボランティアについて話を聞いていました。社長の自由な発想やアイデアは海外経験が元になっているのでは？と思うようになり、いつかは自分も途上国で何か経験できないかと考えていました。



フィジーの村で出会った明るい子ども達



日本(JICA)支援の水のろ過装置の前で
左から 信州大学名誉教授 中本信忠氏 小川寛氏 江口秀満氏

何をしているの？

建築や配管設備の知識、水道センターに勤務していた経験もあり、水のろ過設備の設置支援を行っています。具体的には、川から引いた水を飲料用の水へと変えるための設備を設置するため技術移転をフィジー政府の予算のもと行っています。

印象的なできごと

南国特有のお国柄なのか、時間の意識がまるで違います。のんびりとした国民性で、約束を守られないこともしばしばあります。計画通りに進みませんし、来て数か月かけて行っていた調査が無駄になったこともあります。一方で、フィジーの方は人と人とのつながりを非常に大切にされる印象があります。

制度のメリット

3年前にできたこの民間連携ボランティア制度は給与の補てんもあり、私の持つ技術や能力に合った職種を探してきてもらえることです。また、会社を辞めず、戻る場所があるということは任務に集中することができます。

経験を生かして…

計画通りいかないのが当たり前という環境の中で、臨機応変に対応することや、わかりやすく伝えなくてはならないことを学びました。また、何事にも周りの方の協力が必要だと痛感します。感謝の気持ちを強く感じるようになりました。今の経験を多くの方に伝えていきたいと思います。

「民間連携ボランティア制度」とは？

社員のJICAボランティアへの参加を検討している各企業のニーズに合わせ、受入国や要項内容、職種、派遣期間などをカスタマイズします。途上国での活動を通じて、現地でのネットワーク構築や提携先・パートナーの発掘、市場ニーズの把握など、ビジネス展開する際のヒントを得られるものと期待されています。詳しくはJICAボランティアウェブサイトをご覧ください。 ▶<http://www.jica.go.jp/volunteer/relevant/company/cooperation/>

■民間連携ボランティア制度の特徴

カスタマイズ派遣	派遣先(国)、派遣期間、活動内容(職種)など、企業のご要望をお伺いし、調整します。
派遣期間	原則3ヶ月〜2年の間で、企業のご要望をお伺いし、決定します。
所属先補てん	JICAボランティアに参加する社員の人件費および一般管理費などを所属先にお支払いします。

人件費の補てん ※中小企業のみ対象

① 給与補てん	② 賞与補てん	③ 社会保険料 事業主負担相当額	④ 退職金給与 引換金相当額
当該社員の給与 ×80%	当該社員の賞与 ×80%	①1×15.5% および②2×15.5%	①1×11% および②2×11%

一般管理費などの補てん制度 上記①給与補てんおよび②賞与補てんの40%